

# 所 報

2020. 1~12

2020年1月から12月までの社会科学研究所の活動は以下のとおりである。

## 1. 機関及び人事

### 1. 定例所員総会

所員の総意のもとに、各所員の積極的な参加を活力にして、本研究所を民主的に運営し、社会科学の総合的研究を推進していくために努力をしてきた。今後も、所員の意見・希望等に積極的に応えていきたい。

(1) 第115回定例所員総会 2020年6月13日(土) 13:00～14:30 オンライン(Teams)会議室  
議事：所長挨拶、所員等の異動、2020年度社研体制、2019年度事業報告、同会計報告、2020年度事業計画案、同予算案、その他、すべての議案は承認された。

(2) 第116回定例所員総会 2020年12月12日(土) 13:00～15:00 オンライン(Teams)会議室  
議事：所長挨拶、所員等の異動、2020年度事業中間報告、同会計中間報告、2021年度事業計画案、同予算案、その他、すべての議案は承認された。

## 2. 所員の異動 (2020.1.1以降)

### 1. 所員の委嘱・解嘱

委嘱：吉川純恵(法)、古賀麻衣子(経)、澤 康臣(文)、鶴理恵子(人間)、村上彩佳(人間)、松嶋祐子(人間)

解嘱：見目洋子(商)、竹本達広(商)、伊吹克己(文)、近江吉明(文)、福島義和(文)、藤森 研(文)、川上周三(人間)、今野裕昭(人間)(以上、定年退職)

### 2. 研究参与の委嘱・解嘱

委嘱：伊吹克己、近江吉明、福島義和、藤森 研、川上周三、今野裕昭

解嘱：加藤忠彦(ご逝去)、黒岩俊郎(ご逝去)、熊野剛雄(ご逝去)

### 3. 客員研究員の委嘱・解嘱

委嘱：澤木朋子、荒井久夫

解嘱：青木純一、荒井英治郎、新井範子、荒井久夫、有田謙司、池田有日子、李 東勲、石塚良次、井上洋一、魏 聖銓、織田和家、北村 厚、黒瀬直宏、桑野弘隆、小森田龍生、佐藤潤一、施 錦芳、清水強志、徐 向東、末次俊之、鈴木 力、高木康一、高梨健司、田中 聡、手塚崇子、遠山隆淑、高山正樹、中根康弘、中村一成、中村稔彦、中村知子、西角純志、服部あさこ、濱賀祐子、早川佐知子、

平井太郎、藤井亮二、増田純一、松沢裕作、松下文宏、丸茂雄一、三木由紀子、水戸部啓一、宮川秀一、宗像 優、矢崎慶太郎（以上、2020/3/30付任期満了）

#### 4. 特別研究員の委嘱・解嘱

委嘱：なし

解嘱：なし

### 3. 運営委員、会計監査、事務局員の構成

#### 1. 2019年度社研体制

運営委員		事務局員（○はチーフ）	
所長	宮崎 晃臣（経）	事務局長	樋口 博美（人）
事務局長	樋口 博美（人）	会計	○谷ヶ城秀吉（経）
前事務局長	大矢根 淳（人）		佐藤 慶一（ネ）
運営委員	内山 哲朗（経）	研究会	○石川 和男（商）
	白藤 博行（法）（2019.9～）		飯沼 健子（経）
	蔡 芒錫（営）		永島 剛（経）
	神原 理（商）	編集	福島 義和（文）
			○鈴木奈穂美（経）
			小池 隆生（経）
会計監査	村上俊介（経）		徐 一睿（経）
			広瀬 裕子（人）
		文献資料	○恒木健太郎（経）
			長尾 謙吉（経）
		PC／HP	○高萩栄一郎（商）
			吉田 雅明（経）（～2019.9.30）

## 2. 2020年度社研体制

	運営委員		事務局員 (○はチーフ)
所長	宮寄 晃臣 (経)	事務局長	樋口 博美 (人)
事務局長	樋口 博美 (人)	会計	○谷ヶ城秀吉 (経)
運営委員	内山 哲朗 (経)		佐藤 慶一 (ネ)
	白藤 博行 (法)		山縣 宏寿 (経)
	蔡 芒錫 (営)	研究会	○石川 和男 (商)
	神原 理 (商)		永島 剛 (経)
	嶋根 克己 (人)		長尾 謙吉 (経)
		編集	○鈴木奈穂美 (経)
会計監査	小西 恵美 (経)		小池 隆生 (経)
			徐 一睿 (経)
			広瀬 裕子 (人)
		文献資料	○恒木健太郎 (経)
			埴 武郎 (経)
		PC / HP	○高萩栄一郎 (商)
			吉田 雅明 (経)

## 4. 事務局会議・運営委員会

### 1. 事務局会議

2019年度 (2020.1.1以降)

(12) 1月21日 (火) 第12回事務局会議

- ①社研70周年記念公開シンポジウム (1/25) 進捗
- ②定例研究会 (申請と承認: 定例C (申請者: 大矢根淳所員)、定例C (申請者: 田中隆之所員)、定例C (申請者: 小池隆生所員)、定例C (申請者: 土屋昌明所員)、定例A (申請者: 恒木健太郎所員、11/19事務局会議にて公開研究会として承認済))
- ③春季実態調査進捗 (参加者、事前研究会1/29準備)
- ④所報: 月報進捗、年報進捗 (1/21現在)
- ⑤文献資料: 神田分室の文献・資料整理、処分とその作業日程
- ⑥PC/HP: 月報PDF化、公開作業
- ⑦2020年度客員研究員継続申請の周知
- ⑧2019年度予算執行状況
- ⑨今後の日程 (第13回事務局会議3/11、第3回運営委員会・第14回事務局合同会議3/18)  
[報告] 社研70周年記念事業 (12/21) 報告

(13) 3月11日(水) 第13回事務局会議

(※新型コロナウイルス感染症の影響によりメールによる持ち回り審議)

- ①2020年度グループ研究Aおよび特別研究継続申請(事務局承認)
- ②2020年度新参与候補および依願退職者候補(事務局承認)
- ③2020年度客員研究員の解嘱と継続申請状況
- ④所報:月報進捗、年報進捗(3/11現在)
- ⑤文献資料:新型コロナウイルス感染症に関わる書籍購入予算の用途変更、神田分室の書籍処理
- ⑥PC/HP:年報PDF化
- ⑦2019年度後期予算執行状況(⑤の書籍購入予算関連)

[報告]社研70周年記念公開シンポジウム(1/25)報告/春季実態調査(九州、2/25-29)報告

(14) 3月18日(水) 第14回事務局会議(2019年度第3回運営委員会との合同会議)

- ①2020年度グループ研究Aおよび特別研究継続申請(運営委員会承認)
- ②2020年度新参与候補および依願退職者候補(運営委員会承認)
- ③2020年度客員研究員の解嘱と継続申請(承認)
- ④所報:月報進捗、年報進捗(3/18現在)
- ⑤文献資料:藤本文庫整理進捗と今後の予定
- ⑥PC/HP
- ⑦2019年度予算執行状況(新型コロナウイルス感染症に関わる予算措置他)
- ⑧2020年度運営委員会・事務局体制について

[報告]神田新展開にともなう神田社研分室の三研究所化の準備状況/社研70周年記念公開シンポジウム(1/25)報告/春季実態調査(九州、2/25-29)報告

## 2020年度

(1) 4月21日(火) 第1回事務局会議

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりメールによる持ち回り審議とした。

- ①2020年度社研運営体制  
事務局・運営委員の体制/所員の異動/新規所員、研究参与の推薦と承認
- ②2019年度報告(「2019年度事業報告書」:3/30学務課提出、に基づき)  
研究調査事業報告(定例研究会、シンポジウム、夏季・春季実態調査、研究助成等)/所報の刊行(年報、月報、叢書)/文献資料(山田盛太郎文庫+藤本文庫の収集と整理)/PC/HP、これらをふまえた2019年度決算報告
- ③2020年度事業計画および現在の進捗  
特別研究会企画(夏季実態調査[中止]+春季実態調査[北前船part4(北陸~京都~大阪)]、公開シンポジウム[社研70周年第2弾:環境問題と政策(仮)]、特別研究助成、グループ研究助成の新規募集(5/8×切)+助成金受け渡し日程承認(4/21、5/12)/所報刊行(月報(No.679~690)、年報55号刊行予定・エントリー開始(5/7))/叢書(第23号)編集体制・契約書作成段取等/特別文庫の製本と整理の継続/PC/HP(リポジトリによる公開作業の継

続)、これらをふまえた2020年度予算案ポイント

- ④2020年度前期社研総会 (6/6)、運営委員会・事務局合同会議 (5/26)、事務局会議 (5/12) 開催日程

(2) 5月12日 (火) 第2回事務局会議

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりメールによる持ち回り審議とした。

①2020年度社研体制

新規所員、参与、客員の申請・推薦／客員研究員申請却下について

②2020年度事業計画

特別研究助成、グループ研究助成 (新規申請と承認、特別研究助成、グループ研究助成再募集 (5/13発信、5/22メ切り)、新規特別研究助成選考委員選出 (三役一任) について) / 所報刊行 (月報4月号・5月号・6月号・7月号進捗、8・9合併号：春季実態調査特集号 (応募開始) / 叢書 (23巻：徐 一睿代表) 契約書作成日程 (5/29予定)

③2020年度予算案確認

- ④合同会議、総会日時の変更 (第1回運営委員会・第3回事務局 合同会議 (6/2)、2020年度前期総会 (6/13))

⑤オンラインによる総会開催の承認

[報告] 会計内部監査 (4/21実施) 報告

(3) 6月2日 (火) 第3回事務局会議 (2020年度第1回運営委員会との合同会議)

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりメールによる持ち回り審議とした。

①所長挨拶

②2019年度事業報告 (承認)

③2019年度会計 (収支決算) 報告、会計監査報告 (承認)

④2020年度事業計画案 (承認)

2020年度事務局・運営委員の体制 (所員の異動／新所員の承認／会議・総会予定) / 研究調査事業 (定例研究会 (予定) / 特別研究会：夏季実態調査企画 (中止)、春季実態調査企画 / シンポジウム開催予定) / 研究助成：2020年度継続・新規の研究助成の審議と承認 (グループ研究A,B・特別研究) →助成金受渡の口座振り込み、オンライン研究会の講師謝金の承認 / 所報刊行 (年報、月報の刊行予定・進捗) / 叢書第23巻 (代表徐 一睿所員) 編集計画 / 特別文庫の修復・整理 / PC/HP (所報デジタル化・リポジトリ化)

⑤2020年度予算案 (承認)

(4) 8月11日 (火) 第4回事務局会議 ※オンライン (Teams チーム社研事務局) による実施

- ①春季実態調査、シンポジウム、公開研究会等 (11月に実施可能性を決定 / オンライン研究会開催の検討)

- ②定例研究会 (申請と承認：定例A (申請者：徐一睿所員) [コロナ禍からみえてきた財政的課題] (7/19) / 定例C (申請者：稲田十一所員) [急拡大する中国の対外経済協力とその影響－ミャンマーの事例を中心に] (8/8))

- ③所報：月報11月号進捗 / 年報 (第55号) への応募状況

- ④文献資料：山田盛太郎文庫の修復作業予定、藤本武文庫の整理作業予定、月報・年報製本化作業
- ⑤研究助成の予算未消化時の対応案（特別研究助成のみ／本体への返金／次年度措置の検討）
- ⑥2020年度予算執行状況、今後の支出  
 [報告] 会計外部監査報告：対面による監査中止、7/17付の文書による質問状を受け、8/31期限の回答文書作成中
- (5) 9月29日（火）第5回事務局会議 ※オンライン（Teams チーム社研事務局）による実施
- ①春季実態調査企画（提案：北前船の足跡をたどる Part4 最終版（加賀～福井～京都～大阪）
- ②シンポジウム、公開研究会等（オンラインでの開催検討）
- ③定例研究会（申請と承認：定例C（申請者：永島 剛所員）[工業化・都市化と結核／日本における感染症史研究の現状と課題]（10/11）
- ④所報：年報（第55号）進捗、月報進捗
- ⑤文献資料：山田盛太郎文庫の修復作業進捗（10月業者引き渡し）、藤本武文庫の整理作業再開、月報・年報製本化作業予定
- ⑥PC/HP：HP更新状況
- ⑦特別研究助成費アンケート調査サンプリング作業外注（承認）
- ⑧2020年度予算執行状況と今後の支出
- ⑨助成金の外部業務委託費の検討  
 [報告] 神田分室の図書館移譲分資料についての報告（図書館での確認終了）
- (6) 10月20日（火）第6回事務局会議 ※オンライン（Teams チーム社研事務局）による実施
- ①春季実態調査企画（詳細提案：北前船の足跡をたどる Part4 最終版（加賀～福井～京都～大阪）
- ②シンポジウム提案（日本学術会議にかかわる諸問題（仮）概要:11/28、神田校舎+オンライン、登壇者、後援、共催）
- ③定例研究会（申請と承認：定例C（申請者：広瀬裕子所員）[「コロナ下」での一斉休校——その時何があったのか]（11/27）
- ④所報：年報（第55号）進捗、月報進捗
- ⑤文献資料：山田盛太郎文庫の修復作業（10/20業者引き渡し）、藤本武文庫の修復・製本作業（10/20業者へ一部引き渡し）／中国年間統計資料購入
- ⑥PC/HP：HPの更新／月報製本化作業（PDF化の業者依頼）
- ⑦2020年度予算執行状況と今後の支出
- (7) 10月27日（火）第7回事務局会議 ※オンライン（Teams チーム社研事務局）による実施
- ①社研シンポジウム進捗（2020/11/28（土）「日本学術会議任命拒否問題をめぐって」後援、共催、広報、予算等）
- ②2021年度事業計画および予算案（※11/6学務提出）
- (8) 11月10日（火）第8回事務局会議 ※オンライン（Teams チーム社研事務局）による実施
- ①社研シンポジウム進捗（2020/11/28（土）「日本学術会議任命拒否問題をめぐって」趣意書、プログラム、共催、協賛等）

- ②定例研究会申請 (定例A (申請者: 内藤光博所員) [最近のイタリアの政治状況——憲法改正国民投票・コロナ問題を素材として] (12/5))
  - ③所報: 年報 (第55号) 進捗、月報進捗
  - ④後期総会準備 (2020年度事業および予算執行中間報告、2021年度事業計画書、要求予算書、新所員申請呼びかけ、2020年度春季実態調査企画 (案)、社会科学研究所規程・細則・内規の改定 (案)、後期総会 (12/12) 案内文書+出欠と委任状回収方法)
- (9) 11月24日 (火) 第9回事務局会議 ※オンライン (Teams チーム社研事務局) による実施
- ①社研シンポジウム進捗 (2020/11/28 (土)「日本学術会議任命拒否問題をめぐって」広報/参加申し込み状況 (Zoom登録) 等)
  - ②2020年度春季実態調査 (案)
  - ③定例研究会申請 (定例C (申請者: 谷ヶ城秀吉所員) [『SDGsと商社』—日本貿易会特別研究会報告書の概要と背景—] (11/27))
  - ④所報: 年報 (第55号) 進捗、月報進捗
  - ⑤文献資料: 山田盛太郎文庫、藤本武文庫修正・製本見積もり提示
  - ⑦後期総会準備 (2020年度活動中間報告、会計中間報告、2021年度事業計画案、予算案)
  - ⑧2020年度所員・客員研究員申請 (所員: 松嶋祐子氏 (人)、客員研究員: 荒井久夫氏)
  - ⑨社会科学研究所規程・細則・内規の改定 (案)
- (10) 12月1日 (火) 第10回事務局会議 (2020年度第2回運営委員会との合同会議)
- ※オンライン (Teams 2020社研合同会議) による実施
- ①次期所長選出と承認
  - ②2020年度事業および予算執行中間報告 (12/1当日の事務局および運営委員会承認案件 (1)~(6) 含む) (1) 新所員、客員研究員の承認 (2) 定例研究会申請 (定例C (申請者: 稲田十一所員) [ポスト・コロナ時代における中国の国際経済秩序へのインパクト] (1/20) (3) 社研シンポジウム「日本学術会議任命拒否問題をめぐって」(11/28) 報告と成果公表について (4) 所報: 年報 (第55号) 進捗、月報進捗 (5) 文献資料: 作業進捗 (6) PC/HP関連
  - ③2021年度事業計画および予算案
  - ④2020年度春季実態調査 (案)
  - ⑤アルバイト謝金について (社会科学研究所規程・細則・内規の改定 (案))
  - ⑥2020年度客員研究員継続申請のお知らせ
  - ⑦今後の日程 (2020年度社研後期総会12/12、第11回事務局会議1/19、第12回事務局会議1/26、第3回運営委員会・第13回事務局合同会議3/18)

## 2. 運営委員会

- (1) 3月18日 (水) 事務局会議との合同会議: 事務局会議 (14) に同じ
- (2) 6月2日 (火) 事務局会議との合同会議: 事務局会議 (3) に同じ
- (3) 12月1日 (火) 事務局会議との合同会議: 事務局会議 (10) に同じ

## 5. 研究調査活動

### 1. 定例研究会（公開研究会、特別研究会、基準A・B・Cを含む）

2020年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年より開催数が減少したものの、オンライン開催を中心に、全学部にまたがる所員、研究参与、客員研究員の幅広い問題関心を積極的に採用、社会の諸問題に対する多様な社会科学的アプローチを試み、研究成果を公表してきた。

2020年度の研究会開催申請の提出メ切は、下記のような日程で進めてきた（★参照）。一定の条件を設けた上で緩やかに運用してきた。

#### ★2020年度の研究会申請申込みメ切日程

（5月開催／なし）（6月開催／定めず）（7月開催希望／定めず）（8月開催希望／7月1日）（9月開催希望／7月末日）（10月開催希望／9月15日）（11月開催希望／10月14日）（12月開催希望／11月18日）（1月開催希望／12月20日）（2月開催希望／12月20日）

#### 参考 定例研究会の区分

- ◇定例研究会A：月一回程度の開催として、一回の予算枠は10万円程度（※15万円限度）とする（謝金と交通費、懇親会費等を含む総額）。
- ◇定例研究会B：定例研究会予算枠を使用しない研究会（予算はつかないが、広報は社研が担う）
- ◇定例研究会C：G研成果報告会として研究会（開催予算はG研予算）  
（※グループ研究所助成（特別、A）の成果報告会は定例研究会として開催されることになっている。）

#### 2019年度（2020年1月以降）

特別研究会：社研春季実態調査事前研究会

（9）1月29日（水）16：00～17：30／場所：生田校舎2号館224教室

テーマ：九州の地域・産業の構造と近年の動向

報告者：小柳真二氏（公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部）

参加者：14名

定例研究会C：研究助成A（大矢根淳グループ）

（10）2020年1月31日（金）16：00～19：00／場所：生田校舎社会科学研究所会議室

テーマ：「ベル文」資料が語る仏革命期の自然災害とそれへの革命政府側の対応

報告者：近江吉明所員

参加者：12名

定例研究会C：研究助成A（田中隆之グループ）

（11）2020年2月6日（木）16：30～18：15／場所：神田校舎7号館774教室

テーマ：政温経熱の時代を迎える日中関係

—ユーラシア接続と共振が高まる中での日本の役割—



報告者：結城 隆氏 (荒井商事常勤顧問)

参加者：12名

定例研究会A：(申請者：恒木健太郎) [公開]

(12) 2020年2月17日 (月) 13:30～17:30 / 場所：神田校舎1号館301教室

全体テーマ：日本資本主義論争の時代とその遺産

テーマ①：山田盛太郎伝のための素描 / 報告者：藤井祐介氏 (大谷大学非常勤講師)

テーマ②：山田盛太郎『日本資本主義分析』の理論と射程 / 報告者：武藤秀太郎氏 (新潟大学経済学部准教授)

テーマ③：市民革命は未完のプロジェクトか？—講座派歴史学から戦後憲法学へ / 報告者：阪本尚文氏 (福島大学行政政策学類准教授)

コメンテーター：永江雅和所員

参加者：14名

定例研究会C：特別研究助成 (小池隆生グループ) [公開]

(13) 2020年2月18日 (火) 14:00～17:30 / 場所：生田校舎2号館221・222教室

全体テーマ：川崎市における経済活動の実態と市民活動の現状

テーマ①：新たな産業施策の黎明期～伊藤の関与した産業施策について (2004年から2010年)～ / 報告者：伊藤和良氏 (川崎信用金庫参与、元川崎市経済労働局長)

テーマ②：かわさき市民活動センターの市民活動推進事業からみた川崎市の市民活動の現状 / 報告者：犬塚裕雅氏 ((公財)かわさき市民活動センター参与)

コメンテーター：遠山 浩所員

参加者：14名

定例研究会C：特別研究助成 (土屋昌明グループ) [公開]

(14) 2020年2月21日 (金) 16:30～19:00 / 場所：生田校舎10号館10214教室

テーマ①：王兵のドキュメンタリーと反右派運動 / 報告者：土屋昌明所員

テーマ②：フランスにおける王兵 / 報告者：山口俊洋氏 (ネットワーク情報学部兼任講師)

参加者：10名

## 2020年度

定例研究会A：(申請者：徐 一睿所員) [所員のみ]

(1) 7月19日 (日) 14:00～16:00 / 場所：オンライン (Zoom)

テーマ：コロナ禍からみえてきた財政的課題

1. MMT理論と現金給付 / 報告者：佐藤一光氏 (岩手大学)

2. 地図から見る地方財政の格差 / 報告者：吉弘憲介氏 (桃山学院大学)

参加者：13名

定例研究会C：特別研究助成 (徐 一睿グループ) [所員のみ]

(2) 10月11日 (日) 13:00～16:30 / 場所：オンライン (Zoom)

テーマ①：工業化・都市化と結核 / 報告者：花島誠人氏 (国立研究開発法人防災科学研究所)

テーマ②：日本における感染症史研究の現状と課題／報告者：廣川和花氏（専修大学文学部）

参加者：12名

定例研究会C：特別研究助成（徐 一睿グループ）[公開]

(3) 11月27日（金）18：00～20：00／場所：オンライン（Zoom）

テーマ：「コロナ下」での一斉休校——その時何があったのか

報告者：小澤雅人氏（東京都公立中学校校長・東京都中学校校長前会長）、  
荒井英治郎氏（信州大学）

参加者：26名

定例研究会C：研究助成A（谷ヶ城秀吉グループ）[所員のみ]

(4) 11月27日（金）16：00～18：00／場所：オンライン（Zoom）

テーマ：『SDGsと商社』——日本貿易会特別研究会報告書の概要と背景——

報告者：大代修司氏（住友グローバルリサーチ株式会社戦略調査部長）、  
保田明子氏（日本貿易会 政策業務第三グループ次長）

参加者：16名

定例研究会A：（申請者：内藤光博所員）[所員のみ]

(5) 12月5日（土）14：00～17：00／場所：神田校舎7号館731教室

テーマ：最近のイタリアの政治状況——憲法改正国民投票・コロナ問題を素材として

報告者：高橋利安氏（広島修道大学名誉教授）

参加者：34名

☆その他2020年度は、1月以降、定例研究会Cが5回、特別研究会が1回開催される予定である。

## 2. シンポジウム他

(1) 専修大学社会科学研究所創立70周年記念公開シンポジウム

川崎の産業と暮らし——はたらきがい・いきがいあふれる地域へ——

日時：2020年1月25日（土）13：00～16：30

場所：専修大学生田校舎3号館7階蒼翼の間

司会：永島 剛 所員

第1部：講演

- (1) 川崎市の産業の歴史 平尾光司 研究参与
- (2) 川崎市の新産業政策 草野静夫氏（川崎市経済労働局 担当理事 産業政策部長）
- (3) 川崎・地域の暮らしと仕事 野村幸平氏（男女共同参画センター（すくらむ21）館長）

第2部：パネルディスカッション

第3部：全体質疑応答

[参加者：60名]

(2) 日本学術会議任命拒否問題をめぐって [公開シンポジウム]

日時：2020年11月28日（土）18：00～20：30

場所：専修大学神田キャンパス10号館10113教室およびオンラインZoom

司会：白藤博行所員

シンポジスト：

岡田正則氏（早稲田大学教授）

小澤隆一氏（東京慈恵会医科大学教授）

佐藤 学氏（東京大学名誉教授、元学術会議会員）

晴山一穂氏（専修大学名誉教授）

廣渡清吾 研究参与（東京大学名誉教授、元学術会議会長）

主催：専修大学社会科学研究所

共催：人文科学研究所、法学研究所、自然科学研究所、今村法律研究室

[参加者：573名]

※なお、このシンポジウムを後日 You Tube にアップした。

<https://www.youtube.com/watch?v=buImyvgQ-UA>

### 3. 特別研究会企画

特別研究会における実態調査は夏および春の休暇中に実施されている。夏と春の合宿・集中研究会は、定例研究会では実施が困難な実態調査や自治体関係者との特定のテーマに関する討論会や工場見学などを組み込んだ多様な実態調査を開催し、また所報で調査報告を行なっている。2020年3月（2019年度春季）には「北九州・佐賀の急加速と蝸牛の如き産業変化」と題した実態調査（2020.2.25-29）を実施したが、2020年度の夏季実態調査は新型コロナウイルス感染症拡大により実施の3ヶ月前に中止を決定せざるを得なかった。

(1) 2019年度春季実態調査：北九州・佐賀の急加速と蝸牛の如き産業変化 北九州～久留米～武雄～伊万里～有田（2020.2.25-2.29）

第1日目：2月25日（火）

- ・ JR九州ステーションホテル小倉フロント集合
- ・ 北九州市産業政策課訪問、質疑応答
- ・ 門司駅、門司港周辺見学、ガイドによる案内  
(北九州市内宿泊)

第2日目：2月26日（水）

- ・ シャボン玉石けん（若松区）訪問、工場見学
- ・ 環境ミュージアム訪問、見学、ヒアリング
- ・ アジア低炭素化センター（環境ミュージアム内）ヒアリング、質疑応答  
(北九州市内宿泊)

第3日目：2月27日（木）

- ・ 北九州イノベーションギャラリー訪問、映像視聴、レクチャー、溶鉱炉跡見学、質疑応答
- ・ ダイハツ九州株式会社久留米工場訪問、映像視聴、工場見学

・ノリタケ久留米工場訪問、ヒアリング、工場見学、質疑応答

・武雄市立図書訪問、見学

(伊万里市内宿泊)

第4日目：2月28日(金)

・大川内山(伊万里焼)自由見学

・伊万里まちあるき(幕末・明治期の伊万里近代化の軌跡)ガイドによる案内、質疑応答

・やま平窯(有田焼)訪問、工場見学、ヒアリング

(伊万里市内宿泊)

第5日目：2月29日(土)

・佐賀県陶磁器工業組合(有田)訪問、ヒアリング、質疑応答

・泉山磁石場(有田焼原料陶石採掘場、有田の文化的景観)見学

・佐賀県立九州陶磁文化館訪問、見学

・有田町歴史民俗資料館 → 佐賀空港へ移動

佐賀空港にて終了・解散

[参加者：15名]

(2) 2020年度夏季実態調査 [中止]

新型コロナウイルス感染症拡大により中止とした。

(3) 2020年度春季実態調査 [企画中]

中止となった夏季実態調査企画「北前船の足跡をたどるPart4最終版(加賀～福井～京都～大阪)」を2021年2月24日(水)～27日(土)で実施予定である。

#### 4. 研究助成

(1) **グループ研究助成A** (所員4名以上・年50万円3年間・定例総会にて研究経過報告義務・1名以上論文発表義務・定例研究会にて成果報告会を開催すること)

2018年度発足

◇「社研70年の活動史研究」

(村上俊介(責)・石川和男・樋口博美・宮崎晃臣・柴田弘捷・町田俊彦の6名)

◇「総合商社機能の歴史と現在：経済史・経営史的アプローチと産業調査・業界調査的アプローチの融合を目指して」

(谷ヶ城秀吉(責)・田中隆之・永江雅和・中村吉明・大島久幸の5名)

2019年度発足

◇「日本経済の長期的問題点の整理と検討」

(田中隆之(責)・鈴木将覚・大倉正典・河藤佳彦・中村吉明・小島直・朝倉健男の7名)

2020年度新規

◇「ポスト・コロナ時代における中国の国際経済秩序へのインパクト」

(稲田十一(責)・大橋英夫・徐一睿・傅凱儀・吉川純恵の5名)

(2) グループ研究助成 B (所員2名以上・年20万円1年間・定例所員総会にて研究経過報告義務)

2019年度発足

- ◇「戦後日中経済関係検討研究会」  
(大橋英夫 (責)・遠山 浩・李 春霞の3名)
- ◇「『自治体戦略2040構想』と地方自治制度のあり方研究」  
(白藤博行 (責)・山縣宏寿・川上 哲の3名)
- ◇「戦後初期における労働運動・農民運動の相互関係とその影響」  
(永江雅和 (責)・兵頭淳史の2名)

(3) 特別研究助成 (5名以上・年100万円3年間・定例所員総会にて研究経過報告義務・年度内に  
研究中間報告を定例研究会枠にて実施・助成終了後2年以内に『社会科学研  
究叢書』刊行義務)

2018年度発足 なし

2019年度発足

- ◇「川崎市をフィールドとする産業・労働・生活の現状と課題に関する研究」  
(小池隆生 (責)・鈴木奈穂美・長尾謙吉・杉橋やよい・山縣宏寿・遠山 浩・兵頭淳史・  
畠中 亨の8名)

2020年度新規

- ◇「ポスト・コロナ時代にかけての経済社会の推移—新自由主義の限界と望ましい経済社会」  
(徐 一睿 (責)・森原康仁・小池隆生・鈴木奈穂美・永島 剛・宮寄晃臣・広瀬裕子の7  
名)

## 6. 所報の刊行

### 1. 『社会科学年報』第55号の刊行

所員の執筆申し込みに応じて『年報』第55号を編集・刊行する。印刷は450部。

『年報』第55号の製作ならびに出版契約については、佐藤印刷株式会社との契約を継続した。

2020年12月現在、入稿、校正中である。

## 論文

ミャンマーにおける自動車産業政策と自動車流通—民主化以降の時期を中心として—

石川和男 (所員)

急拡大する中国の対外経済協力とその「規範」の変容可能性

—ミャンマー・ミッソングムの事例を中心に

稲田十一 (所員)

ミシェル＝ベルンシュタインが捉えようとしたフランス革命像を探し求めて

—「ベルンシュタイン文庫」史料の比較調査結果と今後の活用の方向性を展望する—

近江吉明 (参与)

ベトナムにおける日本産梨の動向と今後の展望	佐藤康一郎 (所員)
トランプ政権の通商政策—NAFTAの再交渉を中心に	鈴木直次 (参与)
三段階論の再構成と原理論の叙述方法について	新田 滋 (所員)
わが国の国立大学法人の「大学債」の償還財源と機会均等 —アメリカ州立大学のレベニュー債に学ぶ—	埴 武郎 (所員)
戦後青森県の市長選挙と歴代市長⑤	藤本一美 (参与)
プロジェクト運営における変更の管理—体験的事例を中心に—	小林 守 (所員)
<b>所報</b>	樋口博美 (事務局長)
<b>編集後記</b>	鈴木奈穂美 (編集担当チーフ)

## 2. 『月報』の刊行

第679号～第678号を所員等の投稿に基づいて刊行した。なお、『月報』の制作については、佐藤印刷株式会社との契約を継続する。毎号400部程度印刷。

今年度については、昨年度(2019)春季実態調査特集の合併号を刊行した。また、2020年度夏季実態調査特集の合併号も刊行予定である。

### 2019年度 (2019年1月以降)

(9) 1月20日・2月20日 (679・680号合併号) : 2019年度夏季実態調査特集号

「社会科学研究所2019年度夏季実態調査 北前船の足跡をたどる Part 3

—北陸：佐渡～富山～高岡～金沢—行程記録」 樋口博美 (所員)

「北前船をとおした地域活性化の取り組み —佐渡市を中心として—」 神原 理 (所員)

「世界文化遺産登録に向けた活動—新潟県佐渡市と神奈川県鎌倉市を比較して—」  
石川和男 (所員)

「越中富山の薬売り —富山の配置薬産業と「売薬さん」—」 柴田弘捷 (参与)

「昆布と富山薬売商 —北前船が運んだ倒幕のエネルギー—」 池本正純 (参与)

「晩夏の佐渡紀行」 高橋祐吉 (参与)

(10) 3月20日 (681号)

カタルーニャ独立プロセスと社会契約の破綻

狐崎知己 (所員)・イバン・ゴンザレス・プジョル (外部)

Estado actual del juicio contra el "procés" Ivan González Pujol (外部)

### 2020年度

(1) 4月20日 (682号)

「戦後青森県の市長選挙と歴代市長③」 藤本一美 (参与)

「片倉越後製糸株式会社の株主分析 (補論)」 高梨健司 (客員 ～2020.3)

(2) 5月20日 (683号)

研究ノート「産業集積と地域企業の今後を考える

—企業城下町型集積と産地型集積にみる考察—

遠山 浩 (所員)

書評「『望月清司論文選 ドイツ史・マルクス・第三世界』(日本評論社、2019年)」

村上俊介 (所員)

(3) 6月20日 (684号)

調査報告「減災サイクルのステークホルダーと事前復興への取り組みの実相(Ⅱ)

—被災地石巻での聞き取り調査から：(脱) 仮設・「復興」から日常への収斂—

所澤新一郎 (客員)・大矢根淳 (所員)

「Historical origin and customary land tenancy of rural community in Nigeria」

Regina Hoi Yee Fu (所員)

「韓国の男子学校生徒の身長—成長速度に即して日本との比較」

森 宏 (参与)

(4) 7月20日 (685号)

「都市化時期を考慮した川崎市の居住地域構造の検討」

小泉 諒 (外部)

「新たな産業施策の黎明期～【川崎モデル】の基盤を構築する」

伊藤和良 (外部)

「川崎市の市民活動の現状—(公益)かわさき市民活動センターの事業から見る—」

犬塚裕雅 (外部)

「介護保険制度改革がもたらした介護の変化」

鈴木奈穂美 (所員)

(5) 8月20日・9月20日 (686号・687号) 合併号：2019年度春季実態調査特集号)

「社会科学研究所 2019年度春季実態調査(北九州・佐賀) 行程記録」

樋口博美 (所員)

「北九州市産業構造の推移と現状」

宮崎晃臣 (所員)

「戸畑婦人会による公害反対運動から得られる示唆」

神原 理 (所員)

「カーアイランド九州の形成とエンジン工場」

長尾謙吉 (所員)

「西肥前陶磁器と商人活動—伊万里津における商業活動を中心として—」

石川和男 (所員)

「国姓爺が仕掛けたイマリ開発—イマリはアジアへの輸出商品として誕生した—」

池本正純 (参与)

(6) 10月20日 (688号)

「学部学生のためのプロジェクトマネジメントにおけるコミュニケーションと実践的課題

—ステークホルダーとチームデベロップメントの関連から—

小林 守 (所員)

「医療・警備分野に見る遠隔操作技術と5G」

中村尚樹 (客員)

(7) 11月20日 (689号)

「暮らしと知識の統合的把握の試み…その素描的な草案の控え」

渡部重行 (所員)

「胡傑監督『星火』の構成と意義」

土屋昌明 (所員)

(8) 12月20日 (690号)

「中国における再エネ普及策の特徴

—エネルギー・汚染・貧困対策としての農林バイオマス—」

徐 一睿 (所員)・佐藤一光 (外部)・吉弘憲介 (外部)

「再否決された「大阪都構想」と大都市制度改革の課題」

福島義和（参与）

(9) 1月20日・2月20日（691・692号合併号）：2020年度社研シンポジウム特集号〔編集中〕

(10) 3月20日（693号）〔調整中〕

### 3. 『社研叢書』第23巻刊行について

特別研究助成（2016年度発足、2018年度終了のグループによる）徐一睿・孫文遠編『クールダウン・エコノミー—日本の歴史的経験と中国の現状』（〔日本編〕徐一睿・宮寄晃臣・町田俊彦・原田博夫・大橋英夫・湯進・李春霞、〔中国編〕孫文遠・楊琴・徐瑾・李涛・鄒一南・谷継建・陳怡・田靖・孫文遠・裴育・史夢昱、18名による執筆）が、2020年度内に刊行予定である。

## 7. その他の研究活動

### 1. 文献資料

#### (1) 文献資料の収集

- ①社会科学分野にかかわるリファレンス資料に相当するもの（辞書、統計、白書、年鑑等）、および東アジア経済社会に関する文献の収集に重点をおく、という方針に基づいて文献資料の収集を進めてきた。
- ②メーリングリストや公式WEBサイトを通じて、広く所員から文献購入希望を募り、また、事務局より積極的に文献購入についての提案を行い、予算枠を考慮しながら随時購入してきた。今年度も中国統計書を、所員からの要望を鑑み年度末までに購入する。

#### (2) 文献資料の修復、整理、配架等

2017年度から進めてきた山田盛太郎文庫、藤本武文庫、2つの特別文庫の修復、整理、配架作業を継続し、広く所員が利用できる状態をめざした取り組みを行ってきた。

##### ①山田盛太郎文庫の修復・整理

山田盛太郎文庫の保管状況を確認し、修復・製本の必要なものを業者へ委託し400冊程度の修復を行った。

##### ②藤本武文庫の整理

未整理のものが数多く残っていたため、2020年度も調査・分析・整理を学外の専門的知識提供者に協力依頼をして進めてきた。保管状態を点検・確認の上、今年度は特に状態の悪いものを業者に委託し、130冊程度の修復・製本を行った。作業は2020年度内、そして2021年度も続く予定である。

### 2. PC / HP

#### (1) ホームページの充実

学内CMS化に対応しつつ、掲載コンテンツの内容など社会科学研究所ホームページの充実をすすめてきた。



## (2) 電子メールの活用

電子メール活用による通信業務効率化を引き続き推進した。所員に対する案内等の原則電子メール化(2007年度開始)を継続しており、総会案内に関しても電子メールでも案内を出している。また、出欠確認、委任状集約等についてはこれまで、往復はがき、研究室受付での回収等を継続してきたが、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を受けて、前期総会についてはメールによる出欠確認を、後期総会についてはGoogleフォームによる出欠確認を行った。

## (3) 所報のデジタル化と専修大学学術機関リポジトリへの登録

デジタル化を行った論文に関して、掲載許諾を得ている論文については、社会科学研究所ホームページに全文公開するよう作業を行ってきた(許諾を得ていない論文は、タイトル・著者のみを掲載することになっている)。

今後も社会科学研究所のホームページに掲載される公開論文(月報・年報)への書誌情報(掲載雑誌名、号数、発行年月、DOI等)を付ける作業の準備作業を進めていく。

# 8. 社会科学研究所「規程・細則・内規」(2014年3月)の改正

### ・内規改正(第116回定例所員総会にて承認)

謝金に関する内規 「規程・細則・内規集」(2014年3月)p.16

[改正前]

5. アルバイト謝金は以下のように定める。

学生アルバイトは1時間1,100円とし、交通費は支払わない。一般アルバイトは1時間1,000円とし、交通費は実費を別途支払う。アルバイトは1ヶ月以上継続して使用しない。支払いは1日ごとに行ない、社研にある計算書に受領印と住所の記入を求める。

[改正後]

5. アルバイト謝金は以下のように定める。

学生アルバイトは学内SAの支払い基準に準じて支払うものとし、交通費は支払わない。一般アルバイトは学内の支払い基準に準じて支払うものとし、交通費は実費を別途支払う。アルバイトは1ヶ月以上継続して使用しない。支払いは1日ごとに行ない、社研にある計算書に受領印と住所の記入を求める。